

あま市巡回バス運行の見直しについて

1 見直しにおける条件

現在の巡回バスを利用している方々の生活スタイルを崩さないためにも、以下の点について考慮し、効率性を高めたルート⁽¹⁾の編成を行います。

- ・既存のバス停は効率性を考慮し、見直しをはかる。
- ・運行委託費は、現状と同額程度とすることから、サービス水準を見極め、運行日は現在と同じく週3日、運行時間も現在と同じく8時間程度とする。
- ・車両は、現在と同じ3台とする。
- ・運行便数を現在の便数より増やす。

2 現行の運行ルートにおける課題

これまでの利用状況、平成31年3月に実施した市民アンケートを検証した結果、次のような課題を確認することができました。

(1) 利用者数

- ・「東部巡回ルート」の利用者数が他2ルートと比べ5割以下
- ・「日曜日」の利用者数が他の曜日と比べ2割前後
- ・バス停ごとの利用者数の大幅な差（年間利用者がいないバス停が存在）

(2) 利便性

- ・巡回ルートが長いことによる乗車時間の長さ
- ・運行本数が少ないことによる利便性の悪さ

(3) 運行曜日

- ・市民が求めている運行曜日及び運行時刻が異なる

3 運行の見直しについて

市民アンケートや運行開始以降市民の皆さまから寄せられている御意見等を勘案するとともに、令和5年度に新庁舎が開庁し、庁舎機能が全て新庁舎に集約されることから、新庁舎を通過するような運行ルートの見直しをします。また、将来にわたり公共施設の統廃合が行われていくことから、未来を見据えた運行ルートの編成をし、効率性を考慮し、利便性を高めます。

(1) 路線の設定（資料2別紙 P2）

アンケートから得られた以下の項目について、現行路線において各項目に当てはまる路線編成となっていることを確認できたため、現行路線をブラッシュアップした路線編成とします。

- ① 公共交通機関の満足度が低い地域（赤色の地区）
「下萱津」「七宝町下之森」「七宝町鯉橋」「森」「北苅」
- ② 公共交通機関の利便性向上の要望が多い地域（桃色の地区）
「七宝町下之森」「丹波」「坂牧」
- ③ 「近くにバス停がないため利用しない」の回答が多い地区（水色の地区）
「東溝口」「北苅」「方領」

(2) ルートの設定

(1)の路線を基に、現行ルートを活かしたルートの設定をします。

① 目的地の設定 (資料2別紙 P3)

北部巡回ルート、南部巡回ルート、東部巡回ルート上の地区の行きたいと思う場所、目的地について、それぞれ赤、黄、緑としてプロットしています。

「市民病院」「市役所各庁舎」「公共交通機関各駅」「商業施設」等

② バス停の設定 (資料2別紙 P4~6)

運行開始から現在にかけ、利用人数が年間を通して極端に少ないバス停、運行ルート距離の縮減につながる停留所については、設置の見直しを行い、効率的な運行ルートを設定します。

(参照 資料1 利用状況、資料1 別紙利用状況 (参考資料))

③ 運行本数の設定

現行の運行本数 (各ルート 4 便) から 1 便以上増やし、利便性の向上を図ります。

(3) 運行曜日の設定

「あま市巡回バス試行運行に関するアンケート」では、「月、水、金」の運行を望む声が多い結果となりました。

「あま市巡回バス運行曜日アンケート」では、「火、水、金」の運行を望む声が多い結果となりました。

月曜日では休館施設が多いことや、実際に巡回バスに乗られている方の生活スタイルを崩さないような見直しを行うこととしているため、「火、水、金」の運行曜日にしたいと考えております。

あま市巡回バス試行運行に関するアンケート

(実施時期：平成 31 年 3 月、対象：市民 3000 人、方法：郵送、回収：1041 件)

曜日	回答数
月	338
火	179
水	310
木	114
金	368
土	182
日	172

組	回答数
月、水、金	218
火、金、日	59
火、木、土	53
月、水、土	31
水、土、日	24

あま市巡回バス運行曜日アンケート

(実施時期：令和 3 年 9 月~10 月、対象：巡回バス利用者、方法：郵送・バス車内に設置、回収：147 件)

曜日	回答数
月	63
火	74
水	66
木	39
金	87
土	30
日	41

組	回答数
月、水、金	37
火、金、日	23
火、木、土	12
月、水、土	8
火、水、金	7